

川井博・関真澄・住吉里樹・薄田一郎の世界

■ 作家プロフィール ■



「北の大地からの手紙」

■ 川井博 Hiroshi Kawai 1945年 東京都出身

1975年、商業写真家として独立、風景写真、建築写真、料理写真、等コマーシャルの分野にて活躍、以後スポーツ分野にも進出、主にJRAカメラマンとして中央競馬の写真を撮る。競馬場でのレース写真を中心に、北海道、青森などサラブレッドの生産地にも取材を続けるうちに彼らの自然の中での姿の魅力にとりつかれ毎年長期滞在しサラブレッド生産地の取材を展開。

フランス凱旋門賞、アメリカケンタッキーダービー等海外の競馬場を中心に多数取材。JRAプラザエクウス、各ウインズ、百貨店などにて、個展多数開催。

「英国グランドナショナルレース」

1968年 東京都出身 Masumi Seki 関真澄 ■

1990年独立。ファッション、ポートレート、音楽、料理、企業広告等幅広く撮影していたが、1997年より写真家へとスタンスを置き換え、独自の活動を始める。競馬では、モノクロで国内外のジョッキー60人を撮影した「ジョッキーの肖像」。世界で唯一本の超望遠2000mレンズで、競馬の真実と迫力に焦点をあてた15年間の集大成「2000の真実」等を発表。長さにわたる優駿誌のインタビュー写真でも、多数のホースマンを撮影している。又、英国グランドナショナルレース、ゴールドカップ、オーストラリアのメルボルンカップ等を日本人として唯一撮影。日本で紹介するなど海外での活動も積極的に行っている。現在、アートディレクターとしても活動を展開。写真集、生前写真、プライダルフォト、会社社史の制作等も手がけている。



「Photostud ~Convergence of Photograph and Design~」

■ 住吉里樹 1974年 神奈川県出身

Satoki Sumiyoshi

■ 薄田一郎 1974年 東京都出身

Ichiro Usuda

1998年に競馬専門デザインユニット“Photstud”を立ち上げる。独学で写真を始め、北海道の牧場取材を中心に活動を展開。

2002年にJRA プレスパスを取得し、国内外の競馬撮影をしつつ、同時に写真、デザイン、文字、文章等を融合させた“Designed Photograph”という手法で、作品制作を開始し活動を本格化させる。

雑誌「Futurity」、JRA 定期刊行誌「優駿」などに作品提供し連載中。2006年よりJRA プラザエクウス、Gate.J.などで展覧会も開催。



会場 東京競馬場

JRA競馬博物館 1階・ギャラリー

入場無料

会期 2008年7月19日(土)～10月5日(日)

開館時間：9:00～17:30 月曜定休

- その他：お体の不自由な方のために、専用トイレ、エレベーター、車イスがあります。
- 連絡先：〒183-8550 東京都府中市日吉町1-1 JRA 東京競馬場内 TEL.042-314-5800(代表)
- 駐車場：平日のみ無料専用駐車場あり(大型観光バスの駐車も可)
- 交通：京王線 東府中駅から徒歩10分 府中競馬正門前駅から徒歩5分 府中駅から徒歩15分
JR武蔵野線/JR南武線 府中本町駅から徒歩15分 西武多摩川線 是政駅から徒歩20分